

平成 28 年度谷津干潟の日フェスタ実施報告書

2016 年 7 月 5 日作成

1. タイトル

平成 28 年度谷津干潟の日フェスタ 伝えたい ふるさとの海 谷津干潟

2. 目的

- ①6 月 10 日の「谷津干潟の日」にちなみ地域協働による催しを行うことにより、人の輪を広げる。
- ②ラムサール条約の普及啓発に努め、多くの人が谷津干潟の保全に関わるきっかけづくりの場とする。
- ③地域および観察センターの賑わいを創出し魅力発信に努める。

3. 実施期間

谷津干潟の日フェスタ期間 2016 年 5 月 1 日(土)～6 月 12 日(日)

観察センター入館無料日 6 月 4 日(土)・5 日(日)・11 日(土)・12 日(日)

4. 場所

谷津干潟自然観察センター

5. 主催

習志野市

6. 事業実施主体

平成 28 年度谷津干潟の日運営委員会

谷津干潟ワイズユース・パートナーズ(谷津干潟自然観察センター指定管理者)

7. 後援

環境省 千葉県

8. 協賛

京成バス株式会社、習志野新京成バス株式会社、日本郵便株式会社習志野郵便局・市内郵便局、東日本旅客鉄道株式会社、新京成電鉄株式会社

9. 実施報告

通年谷津干潟の日は、6 月 10 日に近い土・日曜日の 2 日間の開催を行っていましたが、今年度は谷津干潟に飛来する代表的な渡り鳥であるシギやチドリ類が飛来するシーズンに合わせ、5 月 1 日から 6 月 12 日までの間を「谷津干潟の日フェスタ」と称し、期間イベントとして実施しました。このフェスタ期間中の全体企画については谷津干潟自然観察センター指定管理者である谷津干潟ワイズユース・パートナーズが担いましたが、6 月 4 日・5 日・11 日・12 日の 4 日間においては、「谷津干潟の日運営委員会」を設置し、3 月から 18 名の委員の方々为中心となり谷津干潟の魅力を伝える催しを考えてきました。

4 日間、実施した主なイベントは以下のとおり。

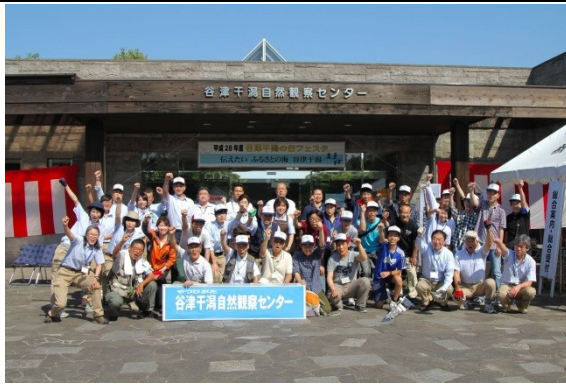
- ・干潟に入って行う「谷津干潟クリーン作戦」や「谷津干潟自然観察会」
- ・現在行っている谷津干潟の保全活動を伝える「谷津干潟サイエンスカフェ」
- ・小さなお子さんにも楽しめる生きもの「展示」や「工作」
- ・観察センターの来てもらうきっかけとなる市内学校協力による「音楽会」や「パフ

オーマンス」・地域自治会を中心とした「市民参加模擬店」

これらイベントは、近隣の小・中・高・大学や地元町内会や自治会、市内施設や環境省および湿地関係団体、観察センターボランティアや谷津干潟ジュニアレンジャー、谷津干潟ユースなどに協力いただき実施することができました。また、イベント運営の他にも会場設営や資材運搬、会場整理など約 1100 名以上の地域の方々に協力していただきました。

この 4 日間で観察センターにお越しいただいた方は延べ 9,039 名で、過去最高の入場者数となりました。来場者の中には、はじめて観察センターに来た方や久しぶりに谷津干潟へ来訪したという方もおり、谷津干潟の生きものに触れ、色々な催しを通して谷津干潟を知り、親しみ、習志野市にとって貴重な自然であることを見つめる機会になってのではないかと思います。

10. 実施写真



集合写真



環境ウォーク



よしず作り



自然観察会「干潟ウォッチ」



アンサンブルコンサート



チドリのパロチ教室



Let's Play Double Dutch!



谷津干潟の日クリーン作戦



谷津干潟の日クリーン作戦



人形劇(サークルさくらんぼ)



市立香澄小学校「合奏」



谷津おどり



おりがみ教室



紙芝居上演



冴えないアオサの活用法



さわってみよう、干潟のいきもの



絵本の読み聞かせ



市民参加模擬店



谷津干潟の日セレモニー



谷津干潟の日セレモニー



谷津干潟の日セレモニー(七中)



アトラクション「合奏&合唱」秋津小



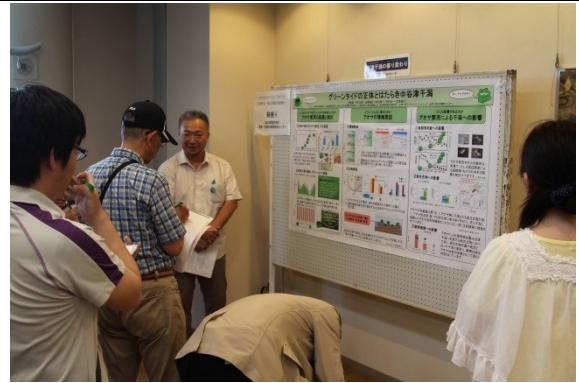
アトラクション「合奏&合唱」谷津南小



プランクトン観察コーナー



谷津干潟サイエンスカフェ



谷津干潟サイエンスカフェ



谷津干潟樹木ツアー



津田沼高校「合唱」



よさこいソーラン



ソロモンの指環



市立第一中学校「合奏&合唱」



谷津干潟マルシェ



作って遊ぼう、ホンビノスガイ



アオサのしおりづくり



干潟体験ツアー



スポットガイド



ゆるきゃら



個別対応